社会科研究部専門研修部　新指導要領に対応した授業づくり

豊橋市立小沢小学校　　村　田　　司

５年「日本の国土～地球儀を使った資料活用」の実践

１　はじめに

現在５年生の社会科を担当していないので、新学習要領の内容(１)アとして、世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置などについて２３年度に指導する小単元を構想した。その際、地図帳は児童全員が持っているが、地球儀の数は限られているので、地図帳と地球儀を併用しながら授業実践をすることとした。子どもたちは４年生から地図帳を使っており、時々地名さがしなどで自主的に地図帳を開く子はいるが、その使う頻度は子どもにより大きく差がある。また、地球儀は４年生以上の教室に常時２個置いてあるので、普段から自主的な活用を図りたいと考えた。

２　単元名　　世界の中の国土～地球儀と地図で調べよう

３　単元の目標

・世界の主な大陸や海洋、主な国の名称や位置、我が国の位置や領土に関心を持ち、意欲的に調べようとする。（関心・意欲・態度）
・我が国の位置を緯度や経度を用いて表現したり、我が国と他国との位置関係や関わりなどを考えたりすることができる。（社会的な思考・判断・表現）
・世界の主な大陸や海洋、主な国の名称や位置、我が国の位置や領土について、地図や地球儀を用いて読み取ったり、白地図にまとめたりできる。（観察・資料活用の技能）
・世界の六大陸と三大洋、主な国の名称と位置、世界の中の我が国の位置や、我が国の領土が南北に連なる大小の島々からなることなどがわかる。（知識・理解）

４　単元構想図（５時間完了）

世界の主な国々や大陸①②（本時１／２）
・世界の主な大陸や海洋の名称と位置や広がりを調べよう。
・世界にはどんな国があるでしょう。
・いろいろな国の国旗の意味や我が国との関係を調べよう。

⇩

世界の中のわが国の位置③
・世界の中での日本の位置について調べてみよう。

⇩

国土の広がりと領土④
・わたしたちのくらす国土の広がりと領土について調べてみよう。

⇩

空から国土をながめてみよう⑤
・写真やグーグルアースを見て気づいたことや疑問に思ったことを話し合ってみよう。

５　本時の指導（１／５）

学　習　の　流　れ	※教師の支援
小沢校区が面している海は何でしょう。 ・表浜　・遠州灘　・太平洋	※児童に身近な話題を提示することで、小沢から世界に目を向けることができるようにする。
世界に大きな海が３つあります。太平洋とあと２つの海は何でしょう。 ・大西洋　・インド洋　・日本海	
地球儀で三海洋を確認しましょう。では、世界の六大陸を調べましょう。 ・ユーラシア大陸　・北アメリカ大陸　・南アメリカ大陸　・アフリカ大陸 ・オーストラリア大陸　・南極大陸	
今年サッカーのワールドカップが開かれたのは、どの大陸のどの国でしょう。 ・アフリカ大陸の南アフリカ	※児童が好きなスポーツのクイズを出すことで、世界の国々に関心が持てるようにする。
日本も出場したね。出場した次の２０ヵ国を地球儀で調べ、ワークシートに書こう。 ・アフリカ…南アフリカ、カメルーン、アルジェリア、ガーナ ・欧州…ドイツ、スペイン、フランス、イタリア、オランダ、デンマーク ・南米…ブラジル、チリ、アルゼンチン ・北中米カリブ海…アメリカ、メキシコ、ホンジュラス ・アジア…オーストラリア、日本、大韓民国 ・オセアニア…ニュージーランド ※出場した３２ヵ国の中から世界各地域の主な２０ヵ国を調べることで、日本に近い国や遠い国、大きい国や小さい国など、いろいろな国があることに気づかせる。 ※オーストラリアを取り上げ、州と予選地域の違いにも気づかせる。	※写真やみやげ物を提示することで、外国や日本との関わりに興味が持てるようにする。
スペインと南アフリカとでは、日本からどちらが遠いでしょう。 ・地図だとスペインの方が遠く見える。 ・同じぐらい。両方日本から遠いよ。 ・南アフリカかも。地球儀で調べよう。	※メルカトル図法の地図を掲示することで、正しい距離がわかる地球儀のよさに気づくようにする。

６　おわりに

地図や地球儀を用いた国探しや国あてゲームなどの活動を取り入れ、活用を促したい。そして、日本の国土や世界の国々に興味を持たせ、自主的に地図や地球儀を活用できるようにしたい。